

— 綾瀬ゾーンエリアデザイン計画 —

綾瀬のまちづくり

資料編



Area Design
Promotion Headquarters

まち×デザイン＝未来

目次

1	統計データでみる綾瀬.....	1
	(1) 人口・世帯動態.....	1
	① 総人口の推移.....	1
	② 年齢3区分人口・割合の推移.....	2
	③ 男女・年齢各歳別人口（人口ピラミッド）.....	3
	④ 外国人の推移.....	4
	⑤ 配偶関係別人口割合.....	5
	⑥ 一般世帯の家族類型別世帯数・割合の推移.....	6
	(2) 区内他エリアとの比較.....	7
	(3) 区外他エリアとの比較.....	9
2.	アンケート調査でみる綾瀬.....	18
	(1) アンケート概要.....	18
	(2) 綾瀬エリアの評価.....	19
	① 単純集計結果.....	19
	② 年齢別集計結果.....	20
3.	統計データとアンケート調査でみるまちの強み・弱み.....	21
	(1) 評価の方法.....	21
	(2) 評価結果.....	22
	① 全体評価.....	22
	② 項目別評価.....	23

1 統計データでみる綾瀬

(1) 人口・世帯動態

綾瀬ゾーンと足立区全体についての人口・世帯等の推移を示します。綾瀬ゾーンの集計範囲は以下に示す町丁目とします。

(綾瀬ゾーンの集計範囲)

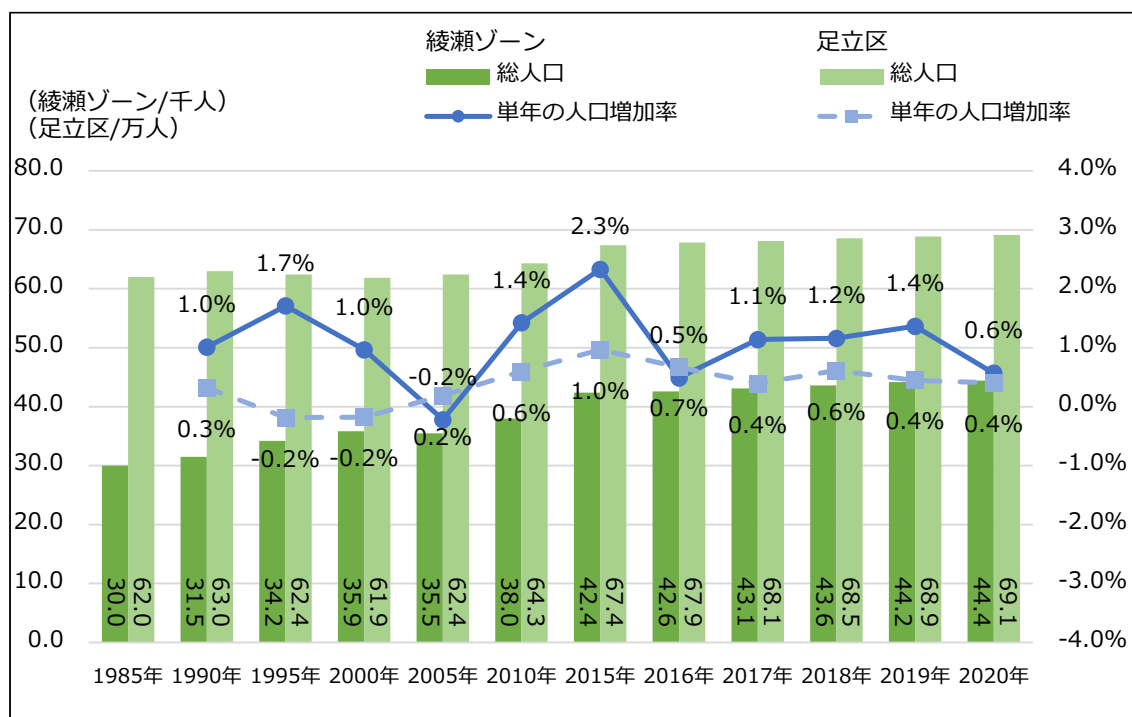
綾瀬一丁目、綾瀬二丁目、綾瀬三丁目、綾瀬四丁目、綾瀬五丁目、綾瀬六丁目、綾瀬七丁目、東和一丁目、東和三丁目、東綾瀬一丁目、東綾瀬二丁目、東綾瀬三丁目

① 総人口の推移

概要

- ・綾瀬ゾーンの人口の推移は、2005 年～2015 年にかけての人口増加率と比べて、近年は鈍化が見られるものの、増加傾向を続けています。
- ・近年にかけても、足立区全体の人口増加率と比較すると、より高い水準で人口が増加し続けています。

グラフ 1 綾瀬ゾーンと足立区の総人口の推移



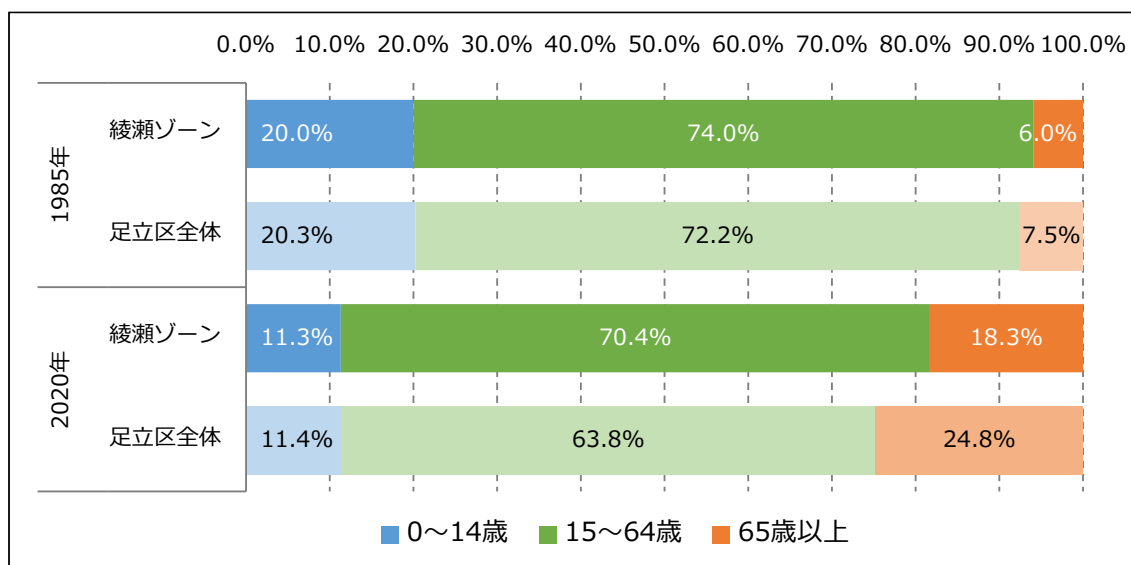
出典 住民基本台帳（各年 1 月 1 日）

② 年齢3区分人口・割合の推移

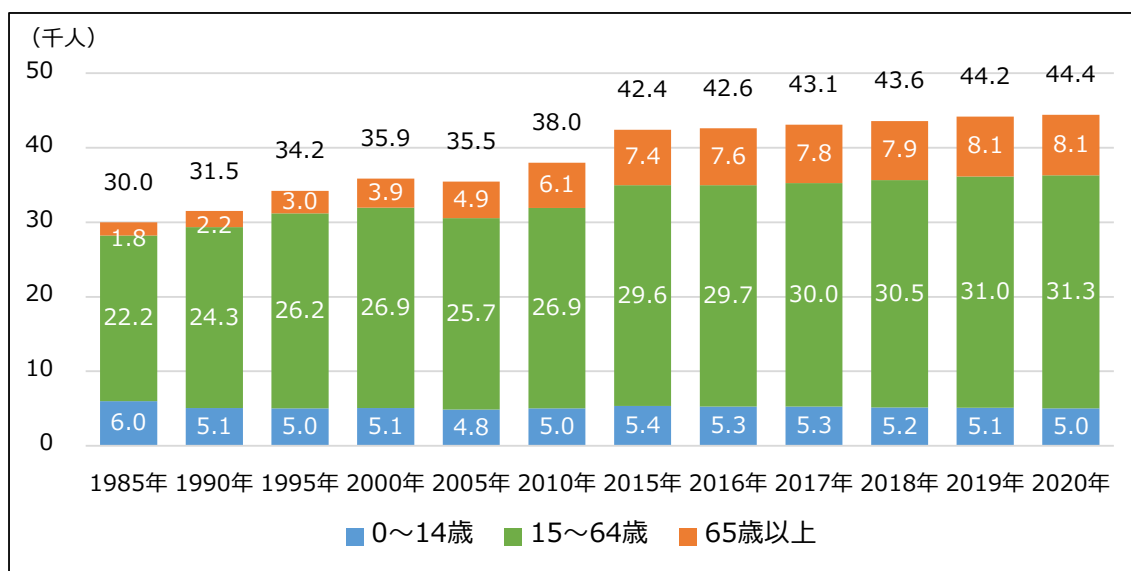
概要

- ・綾瀬ゾーンの 65 歳以上の高齢人口は増加傾向にあり、高齢人口割合も 1985 年から 2020 年にかけて約 3 倍となりました。しかし、2020 年時点の高齢人口割合を足立区全体と比較すると、6.5 ポイントも低く、若い世代の多いエリアであることが分かります。
- ・綾瀬ゾーンの年少人口（0～14 歳）は 2015 年以降横ばいから減少傾向にあります。

グラフ1 綾瀬ゾーンと足立区の年齢3区分別人口割合の推移



グラフ2 綾瀬ゾーンの年齢3区分別人口の推移



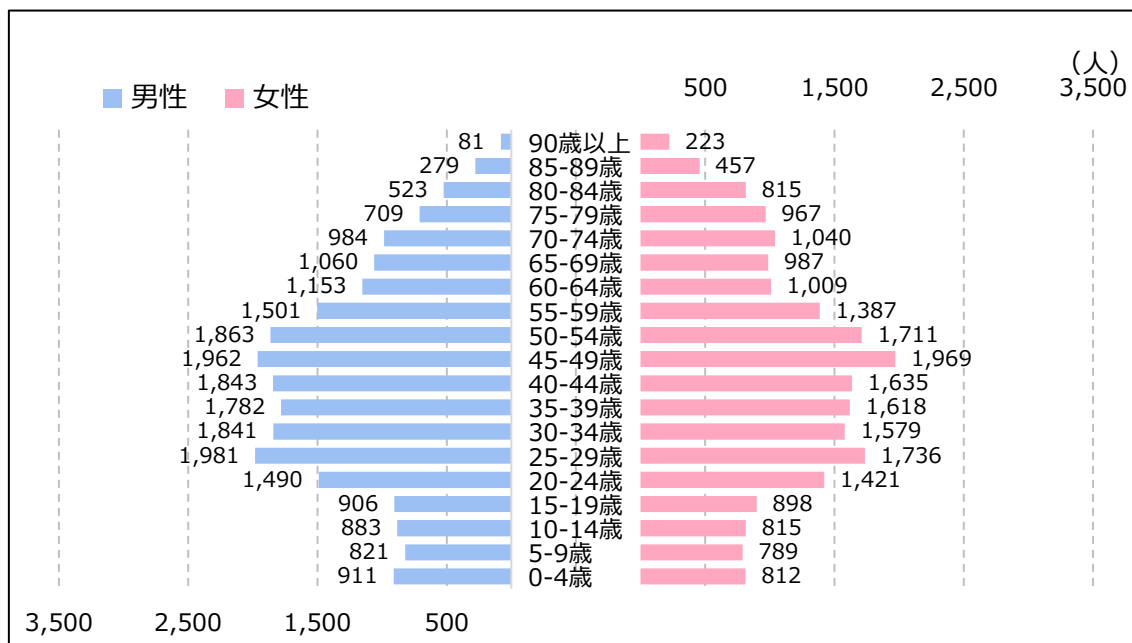
出典 住民基本台帳（各年1月1日）

③ 男女・年齢各歳別人口（人口ピラミッド）

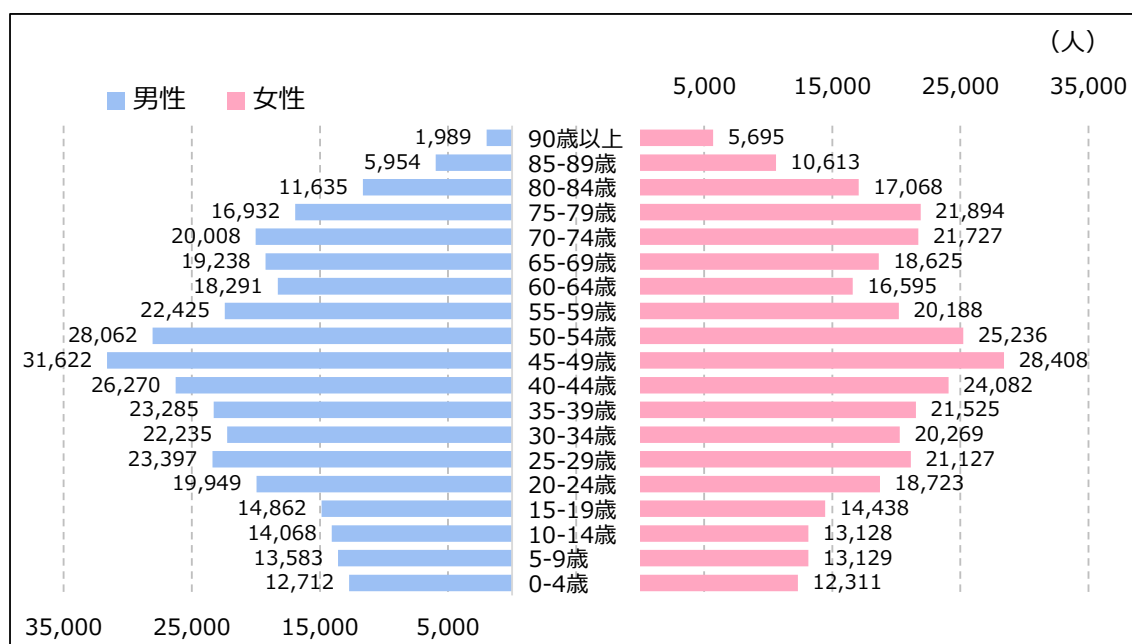
概要

- ・人口ピラミッドを見ると、足立区全体では 65 歳～84 歳と 40 歳～54 歳の 2 つの年代にピークがある人口構造となっていますが、綾瀬ゾーンでは、突出したピークの年代がなく、25 歳～54 歳までの広い年代の人口が多い構造となっています。

グラフ 1 綾瀬ゾーンの人口ピラミッド（2020 年）



グラフ 2 足立区の人口ピラミッド（2020 年）



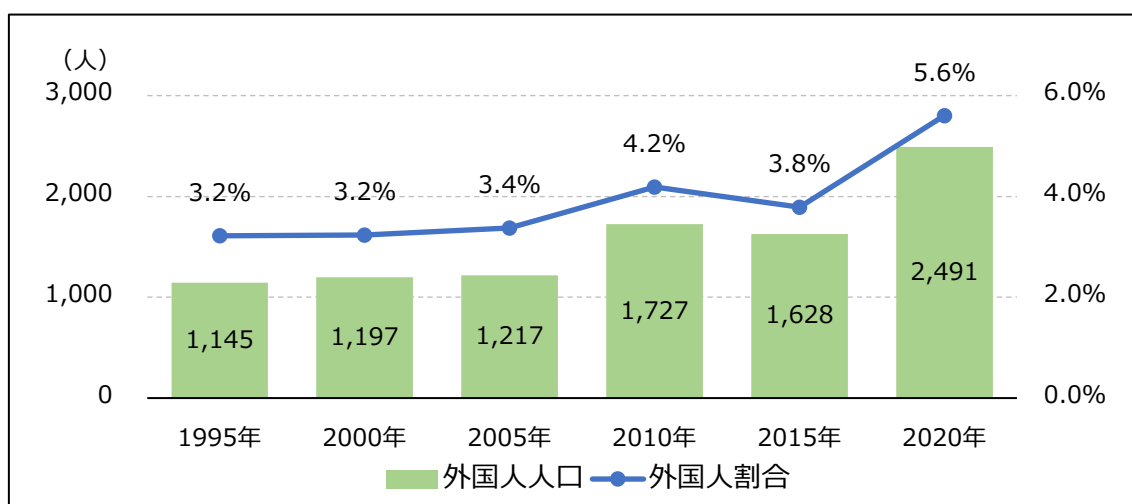
出典 住民基本台帳（各年 1 月 1 日）

④ 外国人の推移

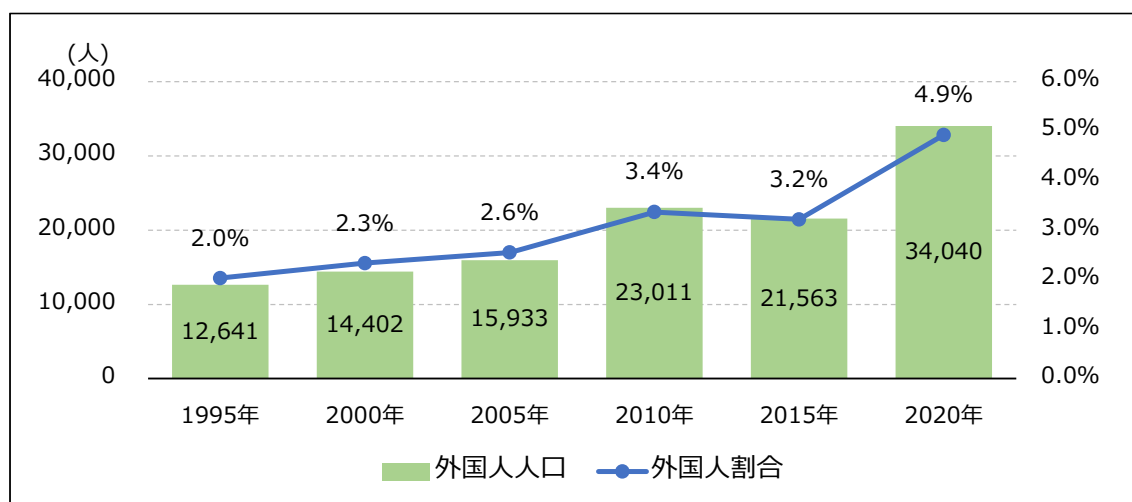
概要

- ・足立区全体での外国人人口の増加に伴い、綾瀬ゾーンでも外国人人口が増加しています。外国人割合は2020年時点で、足立区全体の4.9%よりやや多い5.6%となっています。

グラフ1 綾瀬ゾーンの外国人人口の推移



グラフ2 足立区の外国人人口の推移



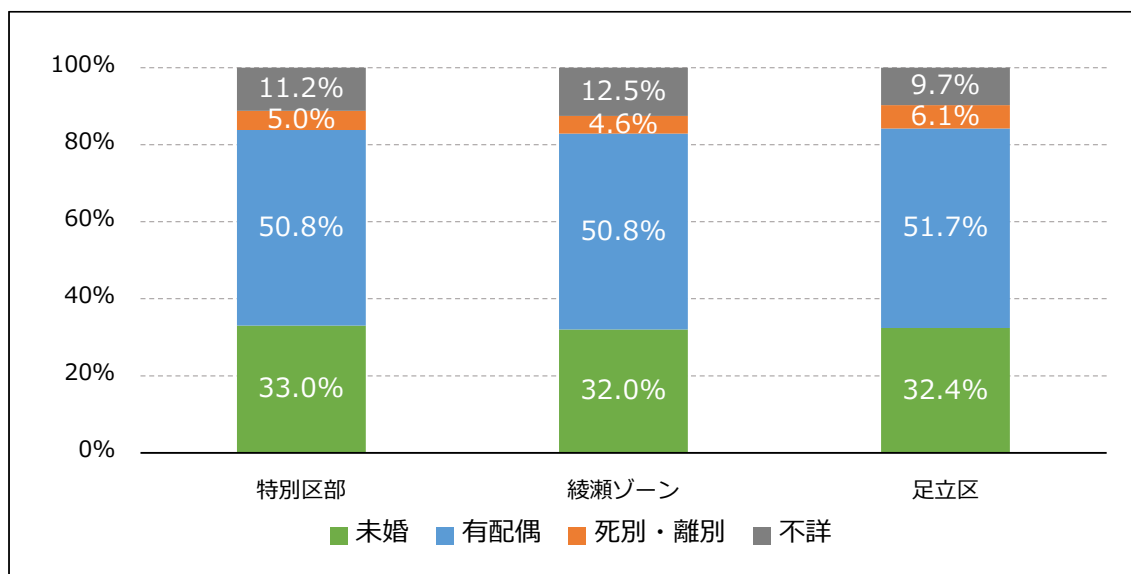
出典 国勢調査(1995年～2015年)及び住民基本台帳(2020年1月1日)

⑤ 配偶関係別人口割合

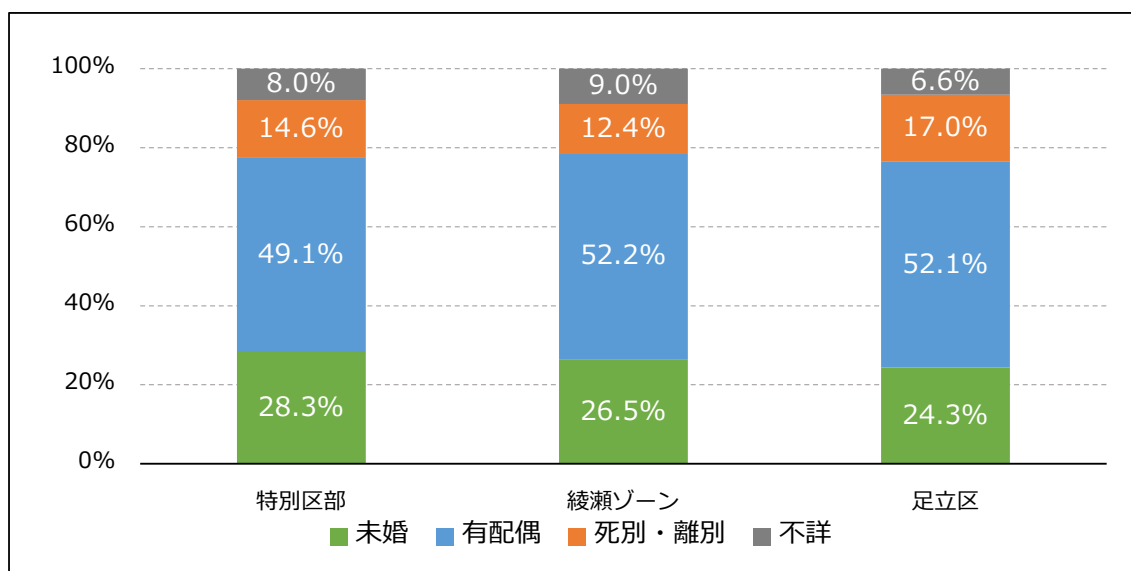
概要

- ・配偶関係別の人口割合を見ると、綾瀬ゾーンは、特に女性において、足立区全体よりも未婚の割合が 2.2 ポイント高くなっています。

グラフ 1 配偶関係人口割合（2015 年）人口割合 男性総数（15 歳以上）



グラフ 2 配偶関係人口割合（2015 年）人口割合 女性総数（15 歳以上）



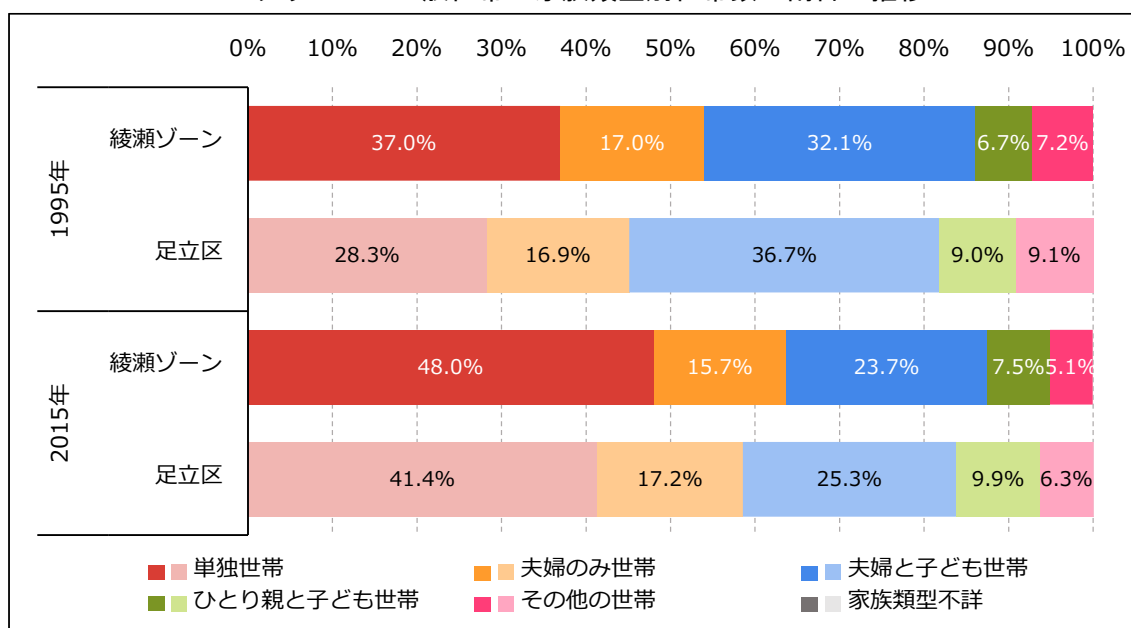
出典 国勢調査

⑥ 一般世帯の家族類型別世帯数・割合の推移

概要

- ・綾瀬ゾーンでは、1995年から2015年にかけて単独世帯の割合が11ポイント増加し、2015年時点で48%と約半数の世帯が単独世帯となっています。
- ・2015年時点の単独世帯の割合を足立区全体と比較しても、綾瀬ゾーンの方が6.6ポイント高く、単身者の多いエリアであることが分かります。

グラフ1 一般世帯の家族類型別世帯数・割合の推移



出典 国勢調査

(2) 区内他エリアとの比較

区内の7エリア（北綾瀬、六町、江北、花畑、千住、竹の塚、梅島・西新井）と比較し、平均を50とした場合の偏差値を綾瀬ゾーンの点数として算出しました。

概要

- ・特に人口規模や人口の多様性、高齢化等の評価が、他のエリアと比べて高く、「ひと」において強みがあると言えます。また、その他の項目においても、概ね他のエリアとの平均を上回っており、ポテンシャルの高いエリアであると言えます。
- ・一方で、治安の評価は他のエリアと比べて低くなっています。
- ・健康の項目については、他のエリアと比べて人口あたりの診療所数が多いものの、大規模な病院がエリア範囲外に立地することから、評価が低くなっています。

表1 区内他エリアとの比較結果

項目	点数			項目についての説明
	30.0	50.0	70.0	
ひと			63.2	人口規模（人口増加率、人口密度）、多様性（外国人割合、居住年数10年未満割合）、高齢化などから評価。
鉄道（地域外交通）			51.0	駅乗降客数や最寄りの空港・新幹線停車駅までの所要時間から評価。
バス（地域内交通）			53.9	バス停密度やバス等端末交通割合、道路率から評価。
歩行環境 （地域内交通）			47.9	徒歩・自転車端末交通割合、自転車利用者の交通ルール、走行マナーが良いと感じる人の割合から評価。
にぎわい			50.4	小売事業所数密度や売り場面積あたりの年間商品販売額、昼間・常住人口比率などから評価。
福祉・医療			49.3	高齢者人口あたりの高齢者福祉施設数や人口あたりの診療所数などから評価。
治安			49.4	人口あたりの犯罪認知件数や防犯パトロールが増えていると感じる人の割合から評価。
防災			55.2	地震の揺れによる総合危険度や建物の不燃化率などから評価
地域活動			52.1	人口あたりのNPO団体数、文化・スポーツ施設などから評価。
みどり			55.1	公園率や1人あたりの公園面積などから評価。
子育て			53.8	5歳未満人口あたりの保育施設数や0～19歳人口あたりの児童館数から評価。

表 2 区内他エリアとの比較に使用したデータ一覧

項目	指標		出典
ひと	1	生産年齢人口割合	平成 27 年国勢調査
	2	人口増加率	国勢調査（平成 22、27 年）
	3	人口密度	数字で見る足立令和 2 年（R2. 1. 1）
	4	外国人割合	平成 27 年国勢調査
	5	居住年数 10 年未満人口割合	数字で見る足立令和 2 年（R2. 1. 1）
	6	高齢人口割合	平成 27 年国勢調査
	7	高齢単身・高齢夫婦のみ世帯割合	平成 27 年国勢調査
鉄道 （地域外 交通）	8	駅乗降客数	各鉄道会社 HP（2019 年度）
	9	最寄りの空港までの移動時間	2019 年 10 月 01 日 10 時 00 分 出発経路検索
	10	最寄りの新幹線停車駅までの所要時間	2019 年 10 月 01 日 10 時 00 分 出発経路検索
バス （地域内 交通）	11	バス停密度	国土数値情報（2010 年）
	12	バス等端末交通割合	第 6 回（平成 30 年）パーソントリップ調査データ
	13	道路率	平成 28 年土地利用現況調査
歩行環境 （地域内 交通）	14	徒歩・自転車端末交通割合	第 6 回（平成 30 年）パーソントリップ調査データ
	15	自転車利用者の交通ルール、走行マナー（良いと感じる人の割合）	足立区政世論調査（2019 年 9 月実施）
にぎわい	16	小売事業所数密度	商業統計（2014 年）
	17	コンビニ事業所数密度	商業統計（2014 年）
	18	宿泊業・飲食サービス業事業所数密度	平成 28 年経済センサス活動調査報告
	19	売場面積あたりの年間商品販売額	商業統計（2014 年）
	20	商業系土地利用面積割合（宅地面積のうち）	平成 28 年土地利用現況調査
	21	昼間・常住人口比率	平成 27 年国勢調査
福祉・医療	22	高齢者人口あたり高齢者福祉施設数	東京都福祉保健局
	23	施設の高齢者・障がい者への配慮（配慮されていると感じる人の割合）	足立区政世論調査（2019 年 9 月実施）
	24	人口あたりの診療所数	国土数値情報（2014 年）
治安	25	人口あたりの犯罪認知件数	警視庁
	26	防犯パトロール（増えていると感じる人の割合）	足立区政世論調査（2019 年 9 月実施）
防災	27	建物倒壊危険度	東京都地震に関する地域危険度測定調査地域危険度一覧表（平成 30 年 2 月）
	28	火災危険度	東京都地震に関する地域危険度測定調査地域危険度一覧表（平成 30 年 2 月）
	29	災害時活動困難度	東京都地震に関する地域危険度測定調査地域危険度一覧表（平成 30 年 2 月）
	30	総合危険度	東京都地震に関する地域危険度測定調査地域危険度一覧表（平成 30 年 2 月）
	31	不燃化率（建築面積）	平成 28 年土地利用現況調査
地域活動	32	人口あたりの NPO の団体数	足立区提供データ
	33	人口あたりの文化・スポーツ施設	国土数値情報（2014 年）
みどり	34	公園率	平成 28 年土地利用現況調査
	35	1 人あたりの公園面積	平成 28 年土地利用現況調査、数字で見る足立令和 2 年（R2. 1. 1）
	36	よく行く、良くいきたい公園がある（そう感じる人の割合）	足立区政世論調査（2019 年 9 月実施）
	37	まちなかの花や緑（増えていると感じる人の割合）	足立区政世論調査（2019 年 9 月実施）
子育て	38	5 歳未満人口あたりの保育施設数	国土数値情報（2019 年）
	39	0～19 歳人口あたりの児童館数	国土数値情報（2019 年）

(3) 区外他エリアとの比較

区外他エリアにおいて、綾瀬ゾーンと競合関係にあたる地域と統計データによる比較を行いました。

エリアの選定にあたって、都心から放射状に伸びる主要な鉄道沿線内において、東京駅等の主要駅までの鉄道乗車時間が概ね30分以内の駅を抽出し、不動産サイトの住みたい街ランキングの順位や複数路線の乗入や快速の停車などの駅の特徴を踏まえ、22の駅を中心としてエリアを比較対象としています。

それぞれ駅から半径1kmを集計範囲として、各エリアの平均を50とした場合の偏差値を綾瀬ゾーンの点数として算出しました。

概要

- ・「ひと」において、人口密度や人口の増加率による「人口規模」や外国人割合や居住者の入替りによる「多様性」の項目では、他エリアの平均を上回っているものの、「高齢化」は他エリアよりも進んでおり、評価が低くなっています。
- ・「福祉・医療」や「地域活動」、「みどり」、「子育て」において評価が高く、人口に対する各種施設の充足がみられます。
- ・「にぎわい」の評価が低く、小売り等の店舗立地や商品販売額の状況は他エリアと比べて低くなっています。
- ・「防災」の評価が低く、地震の揺れに対する総合危険度が東京都内の他のエリアと比べて高くなっています。

表1 区外他エリアの比較対象駅

路線名	駅名
JR 東海道本線（京浜東北線・根岸線）	大森
JR 宇都宮線（京浜東北線・根岸線）	川口、浦和
JR 中央線	中野、荻窪、祥寺
JR 総武線	本八幡、西船橋
JR 常磐線	亀有、松戸、柏
JR 京葉線	新浦安
小田急小田原線	町田
東急東横線・目黒線	武蔵小杉
東急田園都市線	三軒茶屋
東武東上線	和光市
つくばエクスプレス	八潮、流山おおたかの森
東京メトロ東西線	浦安、南行徳
東京メトロ有楽町線	小竹向原

表2 区外他エリアとの比較結果

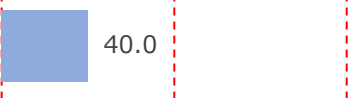
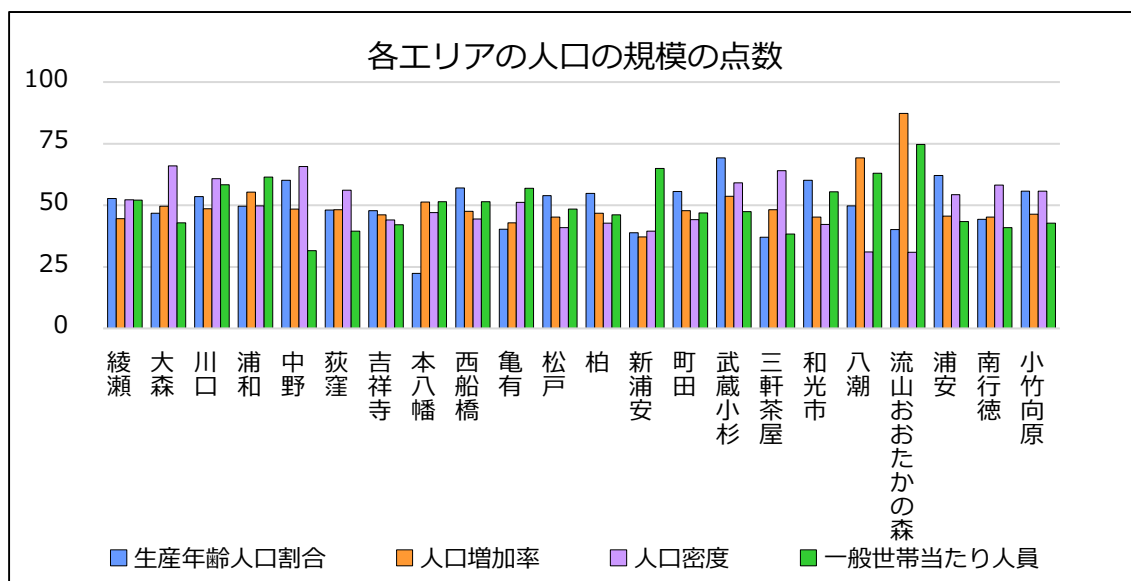
項目		点数			項目についての説明
		30.0	50.0	70.0	
ひと	人口の規模				人口増加率、人口密度、生産年齢人口割合から評価。
	居住者特性				外国人割合、居住年数10年未満割合から評価。
	高齢化				高齢人口割合、高齢単身・夫婦世帯割合から評価。
鉄道（地域外交通）					駅乗降客数や最寄りの空港・新幹線停車駅までの所要時間から評価。
バス（地域内交通）					バス停密度やバス等端末交通割合から評価。
歩行環境（地域内交通）					徒歩・自転車端末交通割合から評価。
にぎわい					小売事業所数密度や売り場面積あたりの年間商品販売額などから評価。
福祉・医療					高齢者人口あたりの高齢者福祉施設数や人口あたりの診療所数などから評価。
治安 ※東京都内の駅のみ比較					人口あたりの犯罪認知件数から評価。
防災 ※東京都内の駅のみ比較					地震の揺れによる総合危険度から評価。
暮らし	住まい				賃貸住宅の家賃相場、分譲マンションの平均坪単価、住宅地の平均地価から評価。
	地域活動				人口あたりの文化・スポーツ施設から評価。
みどり					公園率や1人あたりの公園面積から評価。
子育て					年少人口あたりの保育施設数や児童館数から評価。

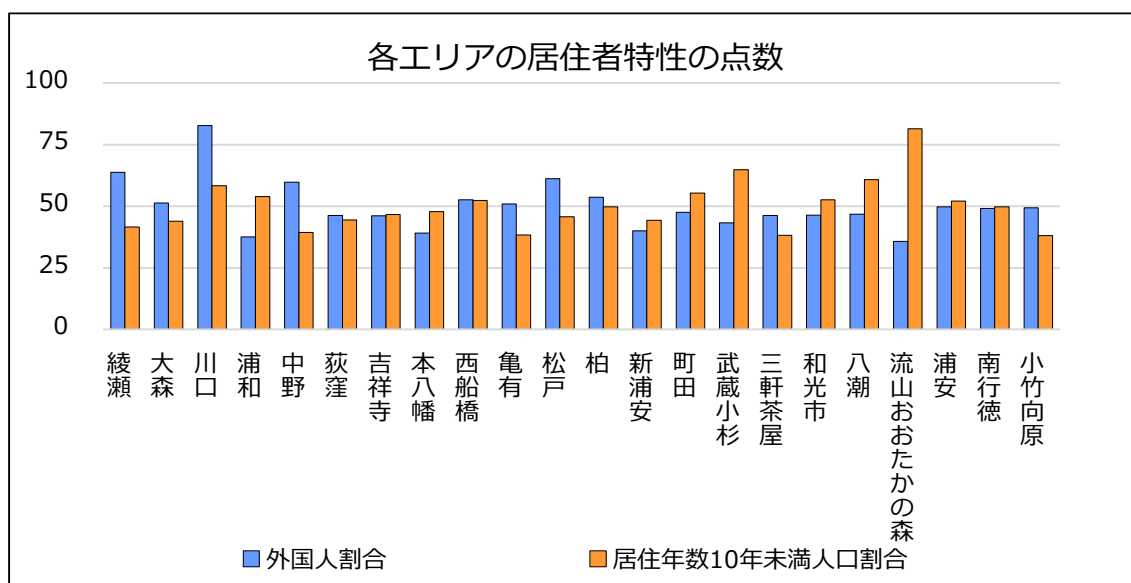
表 3 区外他エリアとの比較に使用したデータ一覧

項目		指標	出典
ひと	人口の規模	1 生産年齢人口割合	国勢調査 250m メッシュ (2015 年)
		2 人口増加率	国勢調査 250m メッシュ (2010, 2015 年)
		3 人口密度	国勢調査 250m メッシュ (2015 年)
		4 一般世帯当たり人員	国勢調査 250m メッシュ (2015 年)
	居住者特性	5 外国人割合	国勢調査 250m メッシュ (2015 年)
		6 居住年数 10 年未満人口割合	国勢調査 250m メッシュ (2015 年)
	高齢化	7 高齢人口割合	国勢調査 250m メッシュ (2015 年)
		8 高齢単身・高齢夫婦のみ世帯割合	国勢調査 250m メッシュ (2015 年)
交通	鉄道	9 駅乗降客数	各鉄道会社 HP (2019 年度)
		10 最寄りの空港までの移動時間	2021 年 10 月 01 日 10 時 00 分 出発経路検索
		11 最寄りの新幹線停車駅までの所要時間	2021 年 10 月 01 日 10 時 00 分 出発経路検索
	バス	12 バス停密度	国土数値情報 (2010 年)
		13 バス等端末交通割合	第 6 回 (平成 30 年) パーソントリップ調査データ
	歩行環境	14 徒歩・自転車端末交通割合	第 6 回 (平成 30 年) パーソントリップ調査データ
にぎわい	買い物	15 小売事業所数密度	商業統計 500m メッシュ (2014 年)
		16 コンビニ事業所数密度	商業統計 500m メッシュ (2014 年)
		17 宿泊業・飲食サービス業事業所数密度	平成 28 年経済センサス活動調査 500m メッシュ
		18 人口あたり小売年間販売額	商業統計 500m メッシュ (2014 年)
		19 売場面積あたりの小売年間販売額	商業統計 500m メッシュ (2014 年)
健康	福祉	20 高齢者人口あたり通所介護施設数	介護事業所・生活関連情報検索, 国土交通省 (2021 年 5 月時点)
	医療	21 人口あたりの病院数	国土数値情報 (2014 年)
		22 人口あたりの診療所数	国土数値情報 (2014 年)
安心・安全	防災	23 総合危険度 (平均順位)	東京都地震に関する地域危険度測定調査地域危険度一覧表 (平成 30 年 2 月)
	治安	24 人口あたりの犯罪認知件数	警視庁, 区市町村の町丁別、罪種別及び手口別認知件数 (2020 年)
暮らし	住まい	25 家賃相場 (1K, 1LDK)	不動産売買・住宅情報の総合サイト「ライフフルホームズ」 (2021 年 5 月時点)
		26 マンションの価格相場 (平均坪単価, 築 10 年未満)	不動産売買・住宅情報の総合サイト「ライフフルホームズ」 (2021 年 5 月時点)
		27 住宅地平均地価	国土数値情報地価公示データ (2021 年)
	地域活動	28 人口あたりの文化・スポーツ施設	国土数値情報 (2014 年)
みどり		29 公園・緑地率	国土数値情報土地利用細分メッシュ (50m, 2016 年)
		30 1 人あたりの公園・緑地面積	国土数値情報土地利用細分メッシュ (50m, 2016 年)
子育て		31 0～14 歳人口あたりの保育施設数	国土数値情報 (2015 年)
		32 014 歳人口あたりの児童館数	国土数値情報 (2015 年)

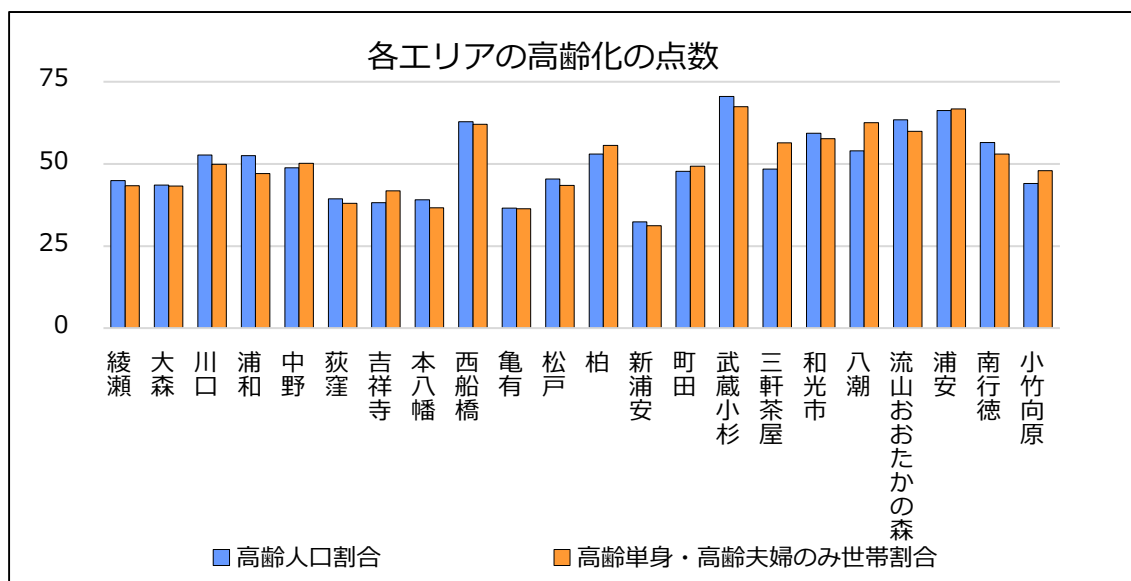
グラフ1 各エリアの人口の規模の点数



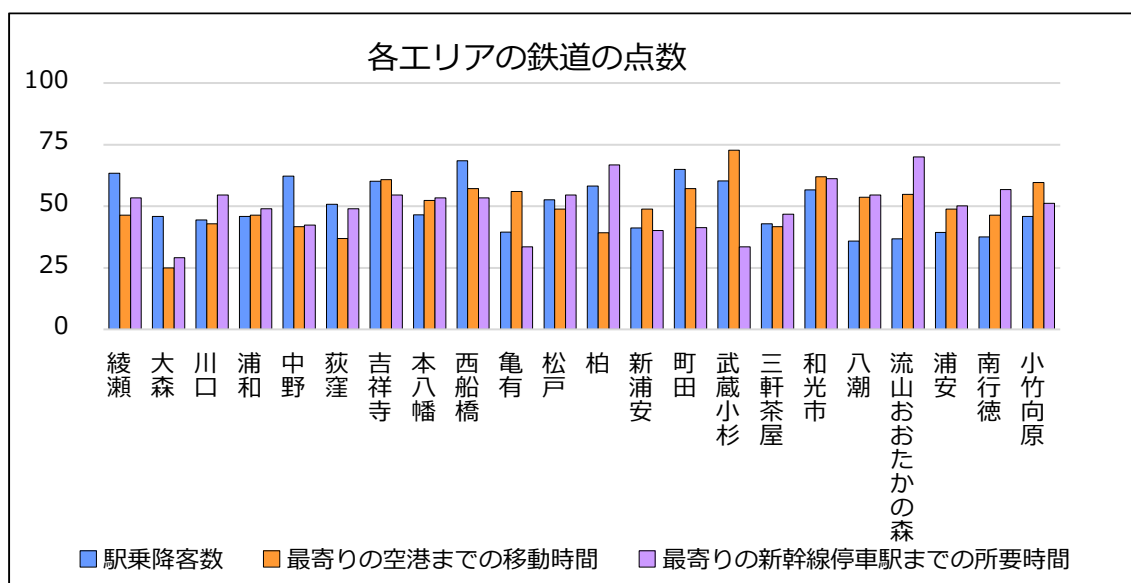
グラフ2 各エリアの居住者特性の点数



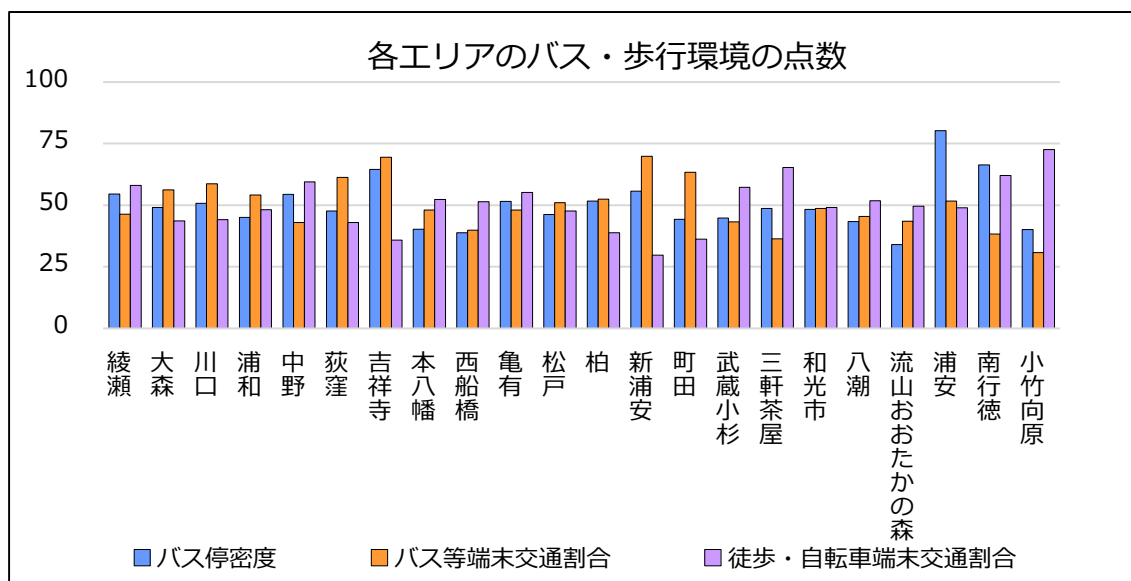
グラフ3 各エリアの高齢化の点数



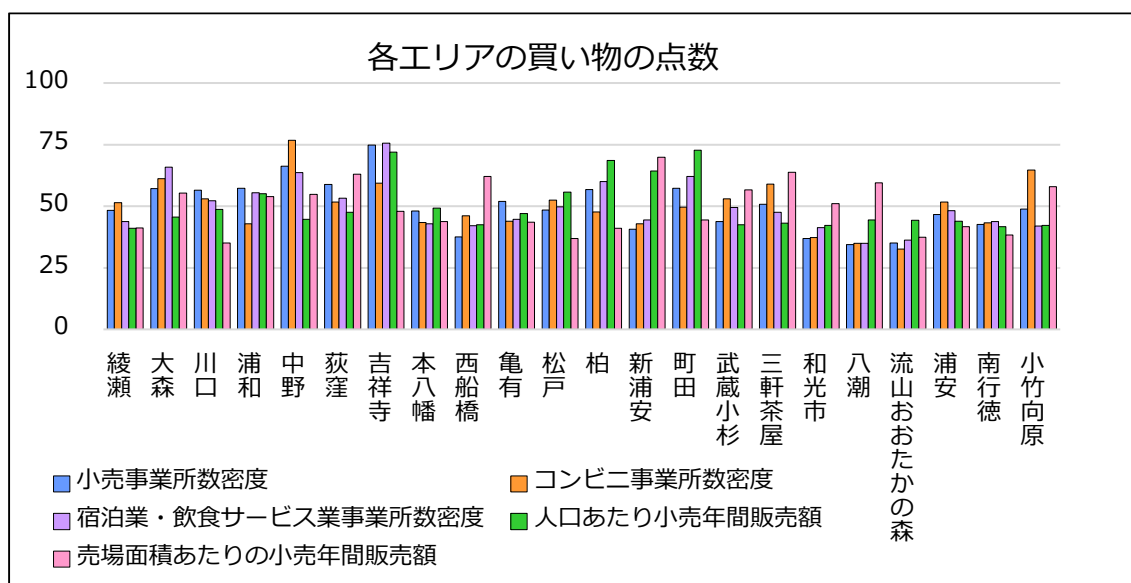
グラフ4 各エリアの鉄道の点数



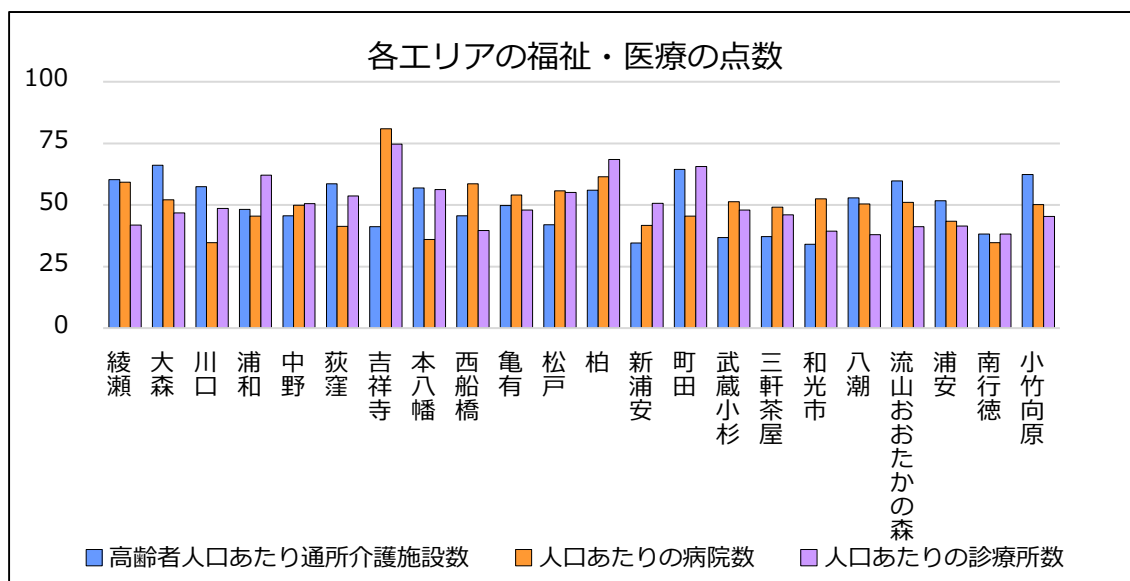
グラフ5 各エリアのバス・歩行環境の点数



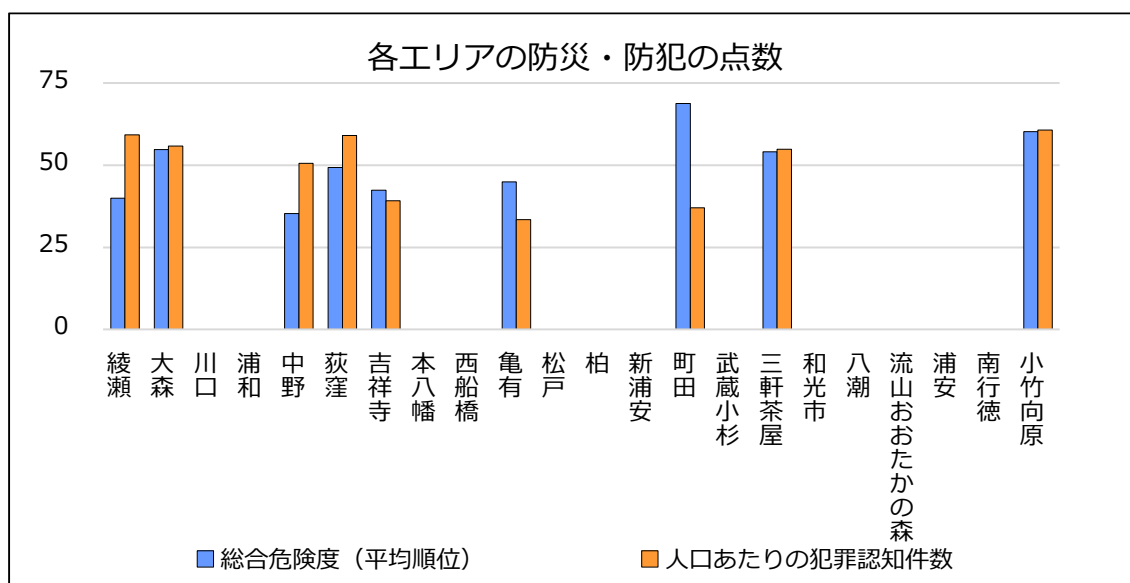
グラフ6 各エリアの買い物の点数



グラフ7 各エリア福祉・医療の点数

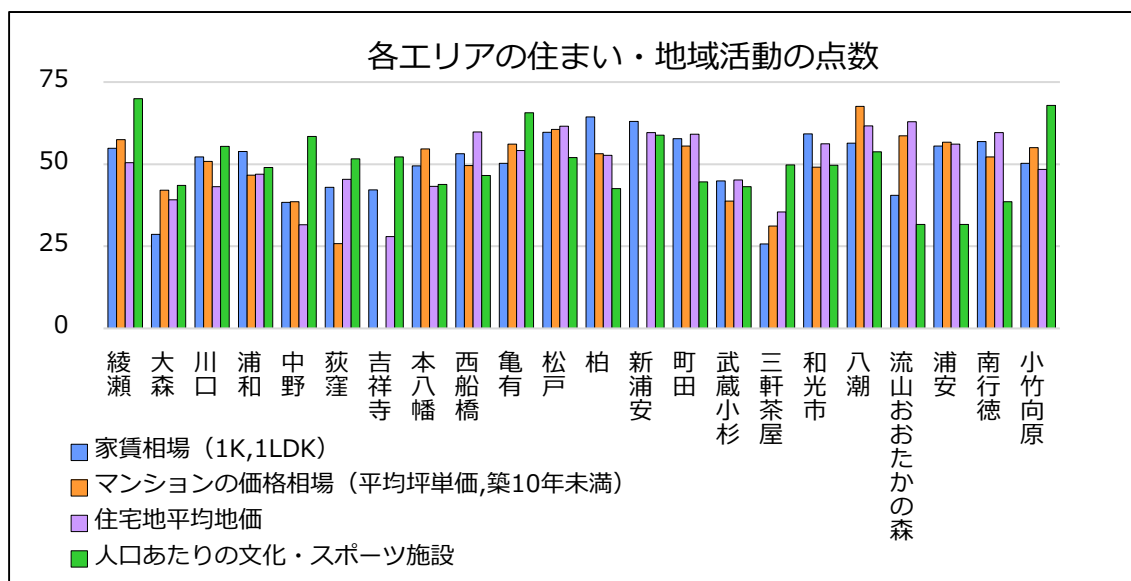


グラフ8 各エリアの防災・防犯の点数

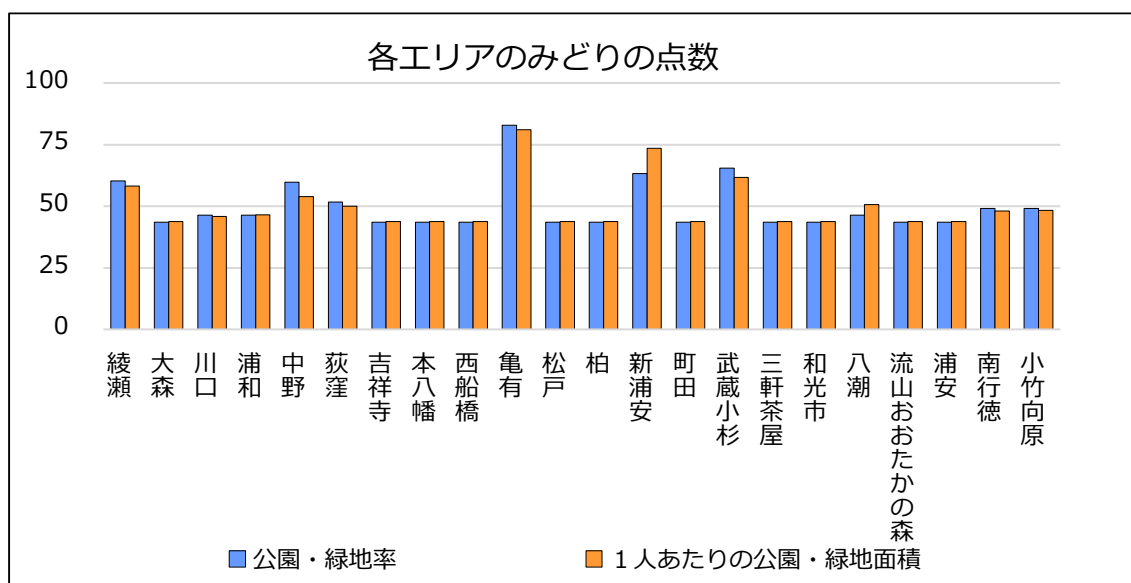


※総合危険度は「地震に関する地域危険度測定調査（東京都）」、人口あたりの犯罪認知件数は「区市町村の町丁別、罪種別及び手口別認知件数（警視庁）」を基に点数を算出している。どちらも東京都内の町丁目のみを対象としたデータであり、それ以外の地域では比較可能なデータがないため、値を空白としている。

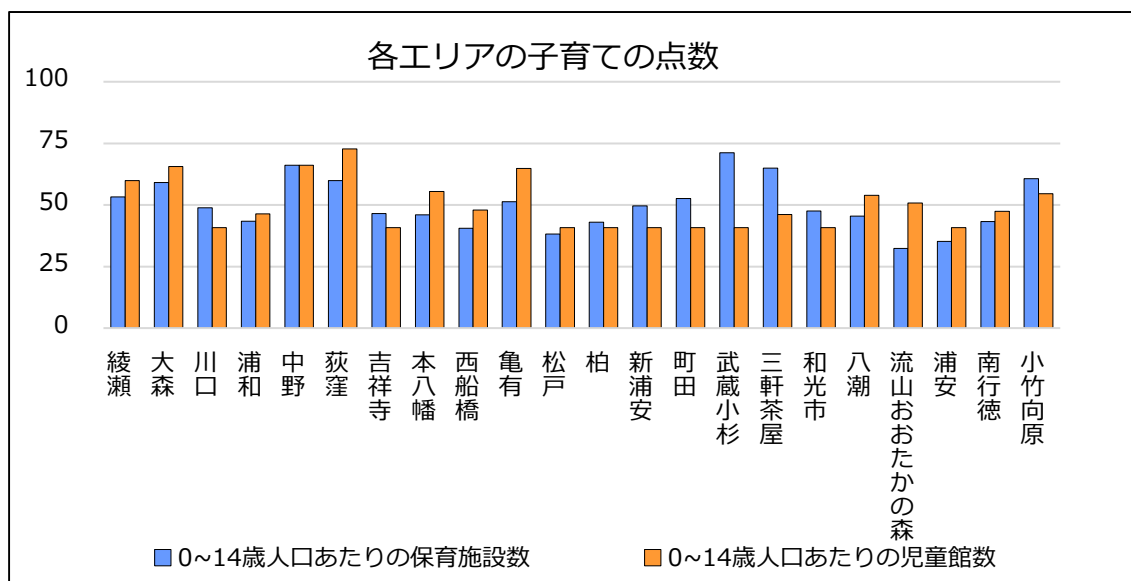
グラフ9 各エリアの住まい・地域活動の点数



グラフ10 各エリアのみどりの点数



グラフ 1 1 各エリアの子育ての点数



2. アンケート調査でみる綾瀬

(1) アンケート概要

綾瀬ゾーンエリアデザイン計画策定のために必要なアンケートである旨を説明し、地域の皆さまのご意見を伺いました。回答用紙を用いたアンケートと WEB アンケートを併用し、表 1 の通り、様々な形式・告知により回答を集めました。

表 2 に示す調査項目より、まちの評価項目ごとに、最高 5 点から 1 点の 5 段階で評価している「問 1 綾瀬エリアの評価について」を抜粋し、アンケート調査から綾瀬の姿を分析します。

表 1 調査方法及び回収状況の概要

調査形式	調査概要	回収種別	回収数	
オンライン説明会	- 区ホームページにおける説明動画の配信 - 配布期間:令和 3 年 1 月 26 日(火)～2 月 28 日(日)	WEB	208	750
オープンハウス型説明会 (綾瀬プルミエ・勤労福祉会館第 1 ホール)	・実施日:令和 3 年 2 月 26 日(金) 午後 3 時～午後 8 時	用紙	10	
	・実施日:令和 3 年 2 月 27 日(土) 午前 11 時～午後 4 時	用紙	13	
無作為抽出アンケート	- 綾瀬ゾーンに居住する住民 1,000 人に郵送による配布 - 実施期間:令和 3 年 1 月 26 日(火)～2 月 28 日(日)	用紙	323	
		WEB	166	
綾瀬駅東口地区まちづくり協議会	・郵送による配布	用紙	22	
窓口(区役所本庁舎、東綾瀬区民事務所)	・実施期間:令和 3 年 1 月 26 日(火)～2 月 28 日(日)	用紙	8	

表 2 調査項目

質問項目	回答形式
問 1 綾瀬エリアの評価について	5 段階評価、単一回答
問 2 綾瀬エリアの「自慢できるところ」や「良いと思うところ」	選択肢、複数回答
問 3 綾瀬エリアが一層「これからも住み続けたい」「人にススメたい」まちになっていくために、特に必要だと思うもの	選択肢、複数回答
問 4 現在、綾瀬小学校仮設校舎がある「旧こども家庭支援センター等跡地」の活用について、綾瀬エリアの活性化に必要だと思う施設	選択肢、複数回答

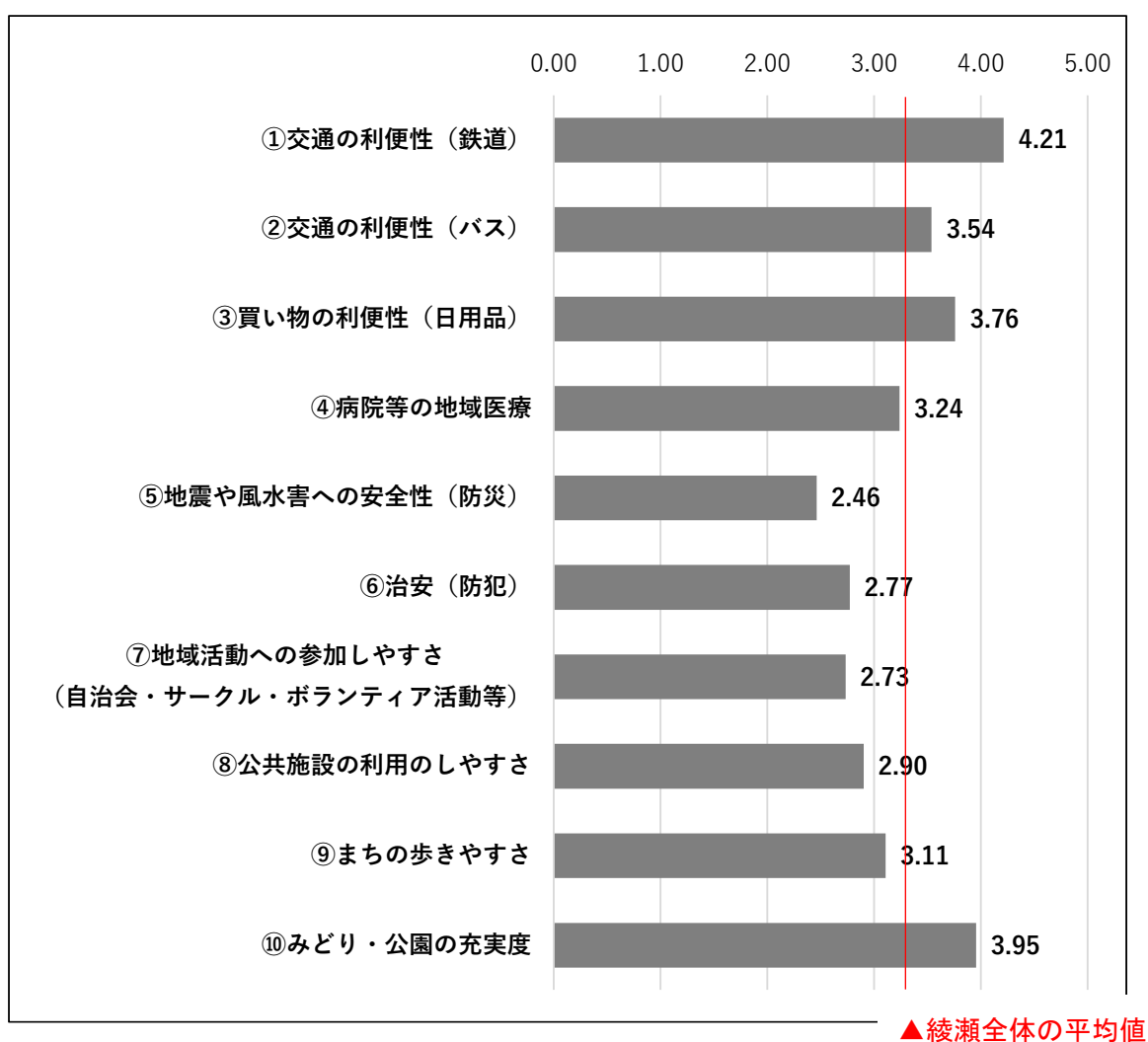
(2) 綾瀬エリアの評価

① 単純集計結果

概要

・「交通の利便性（鉄道）」や「みどり・公園の充実度」、「買い物の利便性（日用品）」に対する評価が高い一方で、「地震や風水害への安全性（防災）」や「地域活動への参加のしやすさ（自治会・サークル・ボランティア活動等）」、「治安（防犯）」への評価は低くなっています。

グラフ1 調査項目ごとの評価

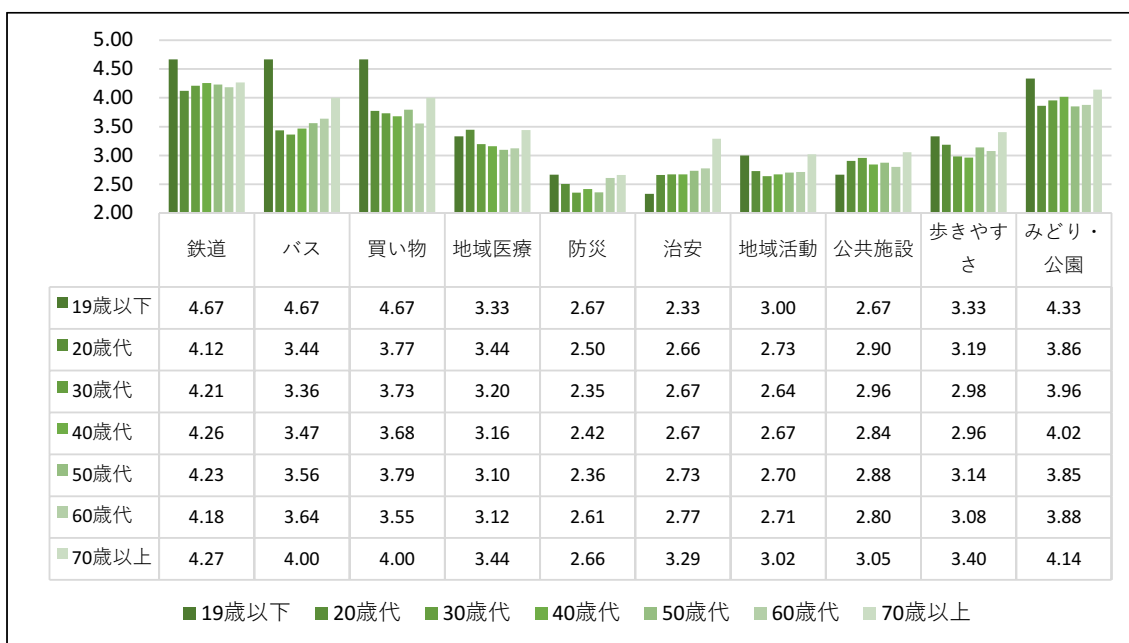


② 年齢別集計結果

概要

- ・全体的に 70 歳以上において満足度が高い傾向があります。
- ・交通の利便性（バス）、地震や風水害への安全性（防災）、治安（防犯）では、年齢が低くなるほど、満足度も低くなっている。

グラフ 1 調査項目ごとの評価（年齢別）



※19 歳以下は n=3 と、母数が非常に小さいため誤差が大きいことが推測される。

3. 統計データとアンケート調査でみるまちの強み・弱み

(1) 評価の方法

- ・表1に示す9項目について、統計データによる「1.(2)区内他エリアとの比較」の結果とアンケート調査による「2.(2)綾瀬エリアの評価」の結果を用い、綾瀬のまちの強み・弱みを分析します。
- ・アンケート調査の結果は、各項目の満足度(%)から、平均を50とした場合の偏差値を求めた値を用います。

表1 まちの強み・弱みの分析項目と統計データ・アンケート調査の対応

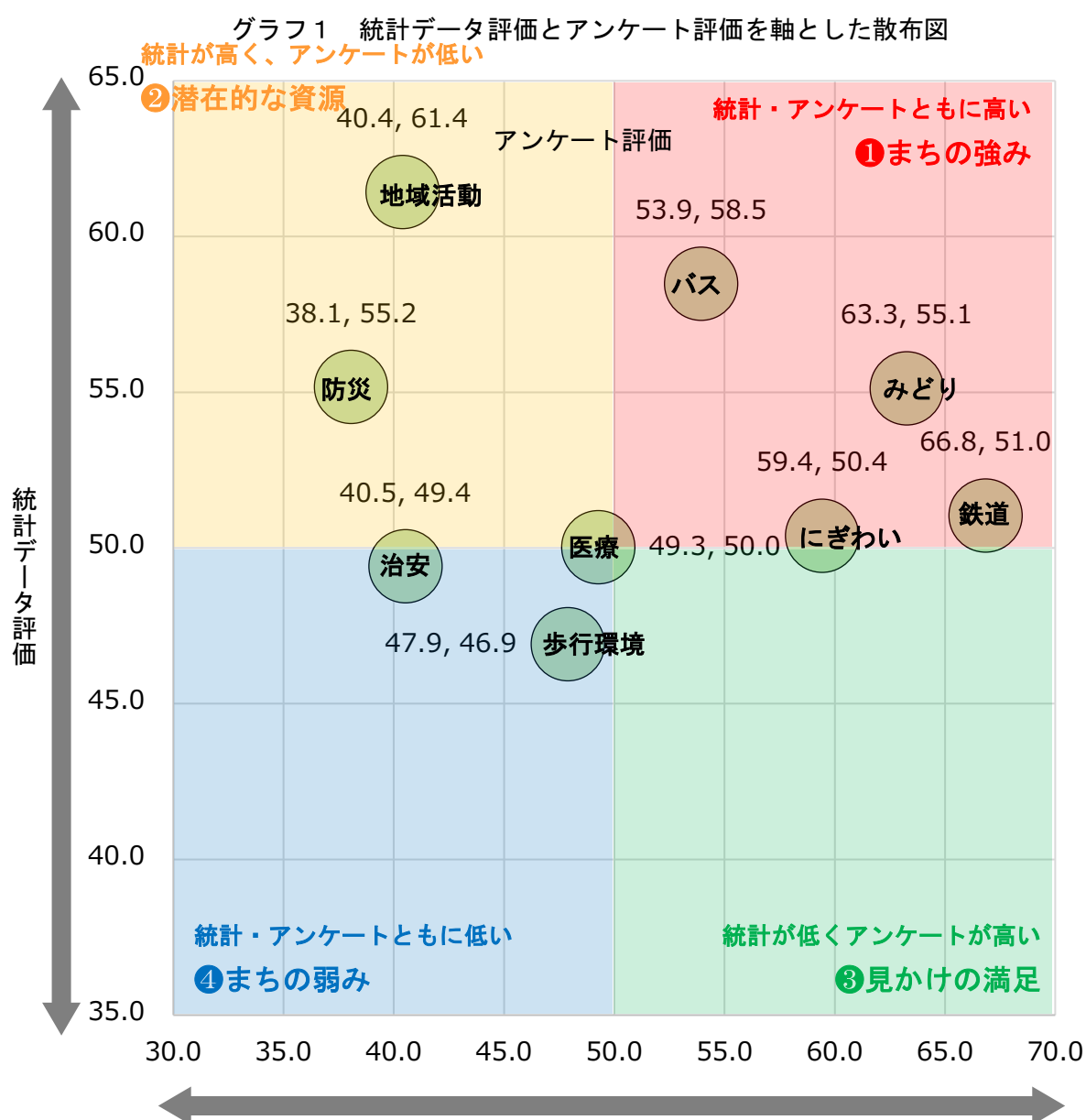
	分析項目	統計データ評価項目 (P8 参考)	アンケート調査評価項目 (P11 参考)
1	鉄道(地域外交通)	鉄道(地域外交通)	交通の利便性(鉄道)
2	バス(地域内交通)	バス(地域内交通)	交通の利便性(バス)
3	歩行環境 (地域内交通)	歩行環境 (地域内交通)	まちの歩きやすさ
4	にぎわい	にぎわい	買い物の利便性(日用品)
5	医療	福祉・医療	病院等の地域医療
6	治安	治安(防犯)	治安(防犯)
7	防災	防災	地震や風水害への安全性(防災)
8	地域活動	地域活動	地域活動への参加しやすさ(自治会・サークル・ボランティア活動等) 公共施設の利用のしやすさ
9	みどり	みどり	みどり・公園の充実度

(2) 評価結果

① 全体評価

概要

- ・バス（地域内交通）やみどり、鉄道（地域外交通）、にぎわいの項目では、統計データとアンケートの評価がともに高くなっている。
- ・一方で、治安や歩行環境（地域内交通）では、統計データとアンケートの評価がともに低くなっている。
- ・地域活動や防災では、統計データの評価は高いものの、アンケートの評価は低くなっている。



② 項目別評価

項目	現状	
1 鉄道 (地域外交通)	・ JR 常磐線と東京メトロ千代田線の2路線が乗入れる綾瀬駅。大手町まで約20分、直通で都心へアクセスできる好立地です。	
	統計データ評価	アンケート評価
	51.0 点	66.8 点
	・ 駅乗降客数が千住エリアに次いで高い。	・ 総じて高い評価となっており、鉄道を便利だと感じている人が多い。 ・ 都心まで一本で通勤通学でき、利便性が高いと評価されている。
	①まちの強み ・ 強みを更に伸ばすことで、地域の魅力を高めることが必要。	
	課題 ・ 綾瀬駅東口駅前広場の整備の機会を活かし、駅周辺の交通結節点としての機能向上を図ることで、更に利便性を高めることが必要。	

項目	現状	
2 バス (地域内交通)	・ 綾瀬駅前には、路線バス5系統、コミュニティバスはるかぜ8系統が乗入れています。	
	統計データ評価	アンケート評価
	51.0 点	66.8 点
	・ 他のエリアと比べて地域面積に対するバス停の密度が最も高い。 ・ 駅を発着点とした移動におけるバスの利用度を示すバス等端末交通割合が竹の塚エリアに次いで高い。	・ 全体では、他の項目と比べて高評価となっている。 ・ 年代が高くなるほど評価が高く、特に70代で評価が高い。 ・ 駅前にたまり空間がないため、バス・タクシー・一般車が錯綜するなどネガティブな意見も存在。
	①まちの強み ・ 強みを更に伸ばすことで、地域の魅力を高めることが必要。	
	課題 ・ 駅周辺において重点的に道路環境の改善が必要。	

項目	現状	
3 歩行環境 (地域内交通)	・駅の乗降客数が多く、朝夕の駅前通りが歩行者、バス、タクシー、一般車等で錯綜しています。	
	統計データ評価	アンケート評価
	46.9 点	47.9 点
	・駅を発着点とした移動における徒歩や自転車の利用度を示す徒歩・自転車端末交通割合が8エリアでの平均を下回っている。	・全体では、他の項目と比べて低い評価となっている。 ・特に子どもを持つ若い年代で評価が低い傾向。 ・駅前の道路が混んでいる、駅前が歩きにくいといったネガティブな意見も存在。
	④まちの弱み ・まちの弱みを改善し、不満に感じることを少なくすることで、評価の底上げを図ることが必要。	
	課題 ・駅周辺において重点的に歩行環境の改善が必要。 ・特に、駅前通りなど歩行空間の改善が課題。。	

項目	現状	
4 にぎわい	・イトーヨーカドーをはじめ、駅前に商業施設が集積していますが、近年は駅前や商店街の商業施設等が減少傾向にあります。	
	統計データ評価	アンケート評価
	50.4 点	59.4 点
	・小売事業所数密度や宿泊業・飲食サービス業事業所数密度が8エリアでの平均を上回っている。 ・昼間・常住人口比率は北綾瀬ゾーンに次いで低い。	・総じて高い評価であり、買い物が便利だと感じている人が多い。 ・身の回りの買い物がしやすいとの意見がある一方で、更なる商業施設、店舗の充足を望む意見も見られる。
	①まちの強み ・強みを更に伸ばすことで、地域の魅力を高めることが必要。	
	課題 ・「買い物は便利」と感じているものの、更に「商業・にぎわい」を要望する声が多い。何が求められ、何が必要か、更に検討を深める必要あり。	

項目	現状	
5 医療	・綾瀬地区の総合病院である東和病院はエリアの範囲外に立地しています。	
	統計データ評価	アンケート評価
	46.8 点	49.3 点
	- 人口あたりの診療所数が千住エリアに次いで多い。 - 高齢者人口あたり高齢者福祉施設数は、8エリアでの平均を上回っている。	- 全体では、他の項目と比べて平均的な評価となっている。 - 全ての年代において不便と感じている人よりも便利と感じている人の割合が高い。 - 病院等も近くにあり便利との意見が見られる。
	—	
	課題	
	- 地域医療に対して一定程度の充足が伺える。 - 地域の医療に関するニーズを適切に捉え、引き続き、地域の暮らしを支える医療環境を維持していくことが必要。	

項目	現状	
6 治安	・治安に関してネガティブなイメージが定着しています。	
	統計データ評価	アンケート評価
	49.4 点	40.5 点
	- 人口あたりの犯罪認知件数は、8エリアでの平均を上回っている。 - 防犯パトロールが増えていると感じる人の割合は8エリアでの平均を上回っている。	- 総じて低い評価となっている。 - 年代が低いほど評価が低い傾向。またエリア外に居住する人からの評価が低い傾向。 - それほど治安は悪くない、イメージとは違うといった意見が見られる。
	④まちの弱み まちの弱みを改善し、不満を感じることを少なくすることで、評価の底上げを図ることが必要。	
	課題	
	- エリア内外からの治安に関する根強いマイナスイメージが弱み。 - 防犯への取組み強化で、犯罪認知件数を抑え込むとともに、イメージアップを進めることが必要。	

項目	現状	
7 防災	荒川、利根川、江戸川、中川、綾瀬川の氾濫時に浸水が想定されており、荒川・利根川氾濫時には3 m以上の浸水深のおそれがあります。	
	統計データ評価	アンケート評価
	55.2 点	38.1 点
	- 建物倒壊危険度等の地震に関する危険度ランクは、8 エリアでの平均を上回っている。 - 建物の不燃化率は北綾瀬ゾーンに次いで高い。	- 総じて低い評価となっている。 30～50 代の若い年代で特に評価が低い傾向。 - 大雨による綾瀬川の氾濫の心配など水害に対する不安等の意見が見られた。
	②潜在的な資源 統計データとアンケートのミスマッチについて、原因把握及び課題解決を図ることが必要。	
	課題 - 防災に対する関心が高い地域住民に対して、災害リスクの正しい情報提供が課題。 - 水害発生時の備えや具体的な避難行動の周知など、被害軽減に向けた取り組みが必須。	

項目	現状	
8 地域活動	東京武道館を中心とした運動・スポーツ施設や足立区勤労福祉会館（綾瀬プルミエ）や東綾瀬住区センター等の公共施設が立地しています。	
	統計データ評価	アンケート評価
	61.4 点	40.4 点
	- 人口あたりの綾瀬ゾーンを拠点とする NPO 団体数は梅島・西新井エリアに次いで多い。 - 人口あたりの文化・スポーツ施設数は北千住エリアに次いで多い。	- 総じて低い評価となっている。 40 代以下の若い年代で特に評価が低い傾向。 - 自治会の活動が積極的に行われている、地域のボランティアが多いといった意見が見られた。 - 一方で、子どもや高齢者、色々な年代の人が集える場所を望む意見も見られた。
	②潜在的な資源 統計データとアンケートのミスマッチについて、原因把握及び課題解決を図ることが必要。	
	課題 - 施設、活動団体などの資源はあるが、活動意欲がある住民とうまく結びついていないことが課題。 - 既存の資源を有効活用し、住民が様々な活動に参加しやすく、公共施設等を気軽に利用しやすい環境や仕組みを整えることが必要。	

項目	現状	
9 みどり	東綾瀬公園や古隅田川親水水路などの周遊環境やアクセス性に優れた特徴的なみどり資源が立地しています。	
	統計データ評価	アンケート評価
	55.1 点	63.3 点
	1人あたりの公園面積は、8エリアでの平均の値と近い。 - 公園率は北千住エリアに次いで高い。	- 総じて高い評価であり、みどりに関する満足度が高い。 - 公園が多く緑に恵まれているといった意見が見られた。
	①まちの強み 強みを更に伸ばすことで、地域の魅力を高めることが必要。	
	課題	
	- 地域の魅力を高めるために、地域の強みであるみどり環境をにぎわいや地域活動などにも活かしていくことが課題。 - 多くの人に利用してもらうために、公園を積極的に活用した取組を検討し、にぎわいの向上や地域活動の活性化に利用することが必要。	

2021年12月

発行 足立区エリアデザイン推進本部

編集 足立区 政策経営部 エリアデザイン推進室

エリアデザイン計画担当課

東京都足立区中央本町1-17-1

電話03-3880-5111 内線1217